

議会運営委員会報告書

令和5年9月22日

備前市議会議長 守井秀龍 様

委員長 尾川直行

令和5年9月22日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	調査結果	備 考
1 議会の運営に関する事項についての調査研究 ① 次期定例会の予定について ② 請願・陳情の受理状況について	継続調査	—
2 議長の諮問に関する事項についての調査研究 ① 議会報告会について ② 議員研修会について ③ 行事予定について ④ その他 (1) 議会基本条例の実践について (2) 議会だよりのモニター制度について (3) 議員報酬（増額改定）について	継続調査	—

議 会 運 営 委 員 会 記 録

招 集 日 時	令和5年9月22日（金）		本会議閉会后	
開議・閉議	午後1時13分	開会　～	午後1時56分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	尾川直行	副委員長	奥道光人
	委員	中西裕康		土器　豊
		西上徳一		石原和人
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍	副議長	森本洋子
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	石村享平	議会事務局次長	大西健夫
	議事係長	青木弘行	議事係主任	楠戸祐介
審査記録	次のとおり			

午後1時13分 開会

○尾川委員長 皆さん、こんにちは。

お疲れのところ、引き続き議会運営委員会を開会いたします。

出席は6名です。

それでは、お手元のレジュメに従って進めさせていただきます。

まず、1の議会の運営に関する事項についての調査研究、①次期定例会の予定について、事務局から。

○青木議事係長 それでは、次期定例会の予定について御説明いたします。

次期定例会は、11月29日水曜日に招集される予定で調整をしております。

それでは、お手元の総括日程表予定を御覧ください。

11月29日の初日に議案上程、市長より提案説明をいただきます。

なお、閉会中に行われる予算決算審査委員会で一般会計の決算認定議案が結審されますと、この日に委員長報告、討論、採決を行っていただくこととなります。

12月6日から8日までの3日間で一般質問、週明けの11日月曜日に議案の質疑と委員会付託を行っていただきます。

なお、一般質問の通告期限は11月30日木曜日の午前10時、質疑の通告期限は12月4日月曜日の午前10時とさせていただきます。

そして、12日から19日までの間で各常任委員会を開催していただき、22日金曜日を最終日とする日程としております。

なお、定例会等の運営を御協議いただく議会運営委員会につきましては、通常、議会の招集告示がなされた日の翌日に開催されることとなっておりますが、翌日23日は祝日であることから、また22日には土器議員が監査委員の公務が入っていることから、今回は24日金曜日の午前9時半から予定させていただければと考えております。

○尾川委員長 事務局の説明がありましたが、総括日程表について何か御質問等ございましたら。

それから、議会運営委員会の開催日が11月24日ということで御確認願いたいと思います。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、大きい2に進ませてもらってよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

2の議長の諮問に関する事項についての調査研究についてお願いします。

○大西議会事務局次長 前回からの議会運営委員会でも諮らせていただきましたように、議会報告会について、次回11月になろうかと思いますが、開催方法、それから方法とかやり方が決まりましたら開催日時等、御協議いただいて御決定いただければと思います。

○尾川委員長 それでは、先ほど事務局からお話がありましたように、議会報告会について御意見をいただきたいと思ひます。開催方法とか開催日時等について、何かございせんか。

○石原委員 前回の議運の休憩中でしたかちらっと意見を申し述べさせていただいたけれども、中西委員は御不在だったかな。これまで2回議場で議会報告会を開催させていただいて、5月も何名でしたか、それから特に8月26日は市民の方4名でしたかね、そのうちお二方は前回に続きということで、ちょっと寂しい状況もあったけれども、例えば、今後について何らかの市の行事であったり、市民の方が集うようなところへ、委員会単位がいいのか、どれぐらいの人数でお邪魔をしてという形がいいのか、そういうところへ議員の側が出向いて行って、ブースを設けて随時立ち寄っていただいて、議会基本条例の中では、市議会は定例会閉会後に議案の審査の経過であったり結果を報告するとともに、意見交換の場を持つこととする旨規定もされてますので、その点にもそういうところは市議会だよりはせめて持つておいて、それも含めていろんな意見交換、市民の皆さんとできれば、それも一つありじゃないかなということはふと思ひました。

11月1日に議会だよりが発刊されて、そちらで御案内もしいただけるのであれば、例えばですけれども、11月19日日曜日が吉永の吉永青少年健全育成大会なども開かれますので、その一画へそういったブースを設けて。もし仮にそれでいきますと、親子連れで中へ入られて、子供さんの作文の発表であったり、表彰であったりというのが行われる行事でありましようから、頻繁に会場の出入りというのはない行事かもしれないけれども、そういうところへ市議会議員が出て行って、備前市議会がブースを設けて、皆さんとの意見交換の場を持つているということも一つ意義あることではないのかな。

今後については、そういったようなタイミングに合わせたようなイベント、何らかはあると思ひますので、ちょっとやってみて、またいろんな課題も見つかるかもしれないけれど、それちょっと提案させていただければと思ひます。

○尾川委員長 ほかの方、御意見ありませんか。

○西上委員 石原委員の意見もいいと思ひますけれども、私もあれからちょっと何がいいかなんというのを考えてみました。私、青年会議所出身なものですから、青年会議所というのは1年間でいろいろ個人の修練、社会奉仕、それから世界の友情というようなJCは3信条を掲げておる中で、地域と協働により社会発展に取り組む活動をしておりますことから、青年会議所のメンバー、二十歳から40歳の若い方でありますけれども、そういう団体を特定して議会報告会をしたら非常にいいものになるかなと思ひております。

○尾川委員長 ほかにはありませんか。

今2案が出たけど、そういう形で、今までのような議場ではないということ、取りあえずもうちょっと方針をきちっと決めて、方向性を出してからというふうな時間がかかりますので、具体的にもう決めて、11月19日、青少年育成大会とか、それから青年会議所との意見交換会とかという提案があったけど、どうしたもんですかね。16人でそろってやるか、それとも委員会ご

とに分けて委員会でやり方というのを考えて実施するということとか、どうでしょうか、この辺は。

一度こういうちょっと非公式な感じの意見交換会ということを取り入れたらどうかなというふうに私は解釈したけど。いかがですか。

それでやってみますか、取りあえず。ただ、今言うように、青少年健全育成大会へ全員行くのか、あるいは分けて青年会議所との意見交換会をするかというその辺のことについて、私の考えですけど、今聞いていたら青少年育成大会はどっちかという厚生文教の担当かなと、青年会議所については総務産業のほうかなと思うたりして、それで委員を2つのグループに分けてやってみるということかなと勝手に話を取っていますけど、いかがですか、その辺は。

○守井議長 議場で2回やってみまして、ちょっと一般市民が来にくいかなというところが認識されたということで、今2つの案みたいな形のものが提案されたということを持って、ちょっと会派でよく相談していただいて、会派で一つの方針を持ってきていただいて、それで一つの方向を定めていただけたらいいかなと、恐らく11月1日なりの次のだよりの発行になりますから、10月15日までに日時とかやり方をきちっと決めまして、11月の広報に出すという形になると思いますので。取りあえずは各会派に持ち帰ってもらって検討していただけたらいいかなと思います。

○尾川委員長 議会だよりに、広報の問題がどうこう言うわけではないですけど、そのあたりどのくらいまで時間があるのか。

○大西議会事務局次長 最終は13日締切りですが、その前に原稿をインして、直しも見ないといけないので、その1週間前、3連休の前、10月6日までに決めていただければ、議会だよりの原稿のほうは10月6日までなら、一部、議会報告会だけなら何とかかなろうかなと思いますので、そこをリミットで決めていただければ何とかがうらいます。

○尾川委員長 はい、分かりました。

そんなことですが、どんなですか。

○石原委員 今のところの皆さん方の御意見を総合すれば、議会が出向いていくスタイルにしましょうというのは恐らく統一見解だと思うけれども、議運で毎回議会報告会を諮られてですけど、今の御意見を伺えば、もう出向いていくときに、常任委員会単位で、もしそちらへお任せができるのであれば、さっき言われた、ある団体を特定することも委員会レベルでできましょうし、そういう形であるならば、あえて議会だよりに日時なり会場を明確にどんと出さずとも、市議会として委員会レベルで、2つの委員会がありますので、その単位での市民の皆さんとの意見交換の場を持っていくことを検討して、詳しくは、そのときに市民の皆さんの御案内が難しいかな、それから団体も今西上委員が言われた、例えばJCさんなんかだったら特定してしまうわけでしょうから、先方を。そうなったら、もう委員会から先方との間だけで意見交換の場も持てるでしょうし、市民参加のところがちょっと難しくなるかなとは思いますが、こちら側

の運営とすれば、もう常任委員会単位で、どこかへ出向いて行って開催しますということによければ、そのほうがよっぽどチャンスが広がったり、締切りに追われることもなくあれなのかなとは思いますが。

○尾川委員長 できれば広報はしたほうがいいと思うけど、今一般市民対象というのはあるけど、特定の団体になったら必要ないという言い方もあるけど、できればこういう活動をしていますよということを知らせたほうがいいとは思う。

どっちかいうたら常任委員会、議長は各会派へ持って帰って一遍検討したらどうかという意見もあったけど、常任委員会に任せてみると、1回か2回任せてみるというのも一つの意見かなと思うので、ほかの委員の方、御意見あったら。

○土器委員 今いろいろ出とんじゃけえ、やってみたらいいじゃないですか。今までと同じじゃったら人も集まらんしね。いろいろやってみて、また変えたらいいことですから。

○尾川委員長 ほかには意見ないですか。

10月6日までという話があったけど、その辺何か考えながら努力してもらおうというふうにしたらどんなですか。1回か2回、ちょっと常任委員会に任せてみると。

議長、それでいいですか。会派じゃなしに、常任委員会へ任せて、各委員会でそういった団体というか、そういう会があるというときにチャンスを利用するとか、それはもう常任委員会のほうで決めてもらおうと。いかがですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そういうことで、日にちは11月中にということで、大体同じぐらいの日にちに実施すると。例えば、具体的に言うと、青少年育成が11月19日なら、その前後ぐらいにほかもやるということで、その辺も事務局のほうに誰になるのか。その辺を委員長によく話して、みんなで決めてもらおう。おえなんたら、また変えればいから。一遍はやってみたら。

それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

あとの細かい手順は、ここでやっとなのと同じようなことになると思うので。

○大西議会事務局次長 そういうことであれば、議会報告会の開催方法について、今後は各常任委員会でこちらから出向く、ないし団体等を対象として議会報告会を開催する形式にさせていただきます的な議会だよりの中での広報という形でよろしいでしょうか。

開催した後の開催報告というのは、また議会だよりの紙面のスペースが取れば、こういった御意見があつて、こういうやり取りをしましたという結果報告みたいな形のところはスペースを確保したいと考えますが、そういった形でいかがでしょうか。

○尾川委員長 ちょっと言い回しが、言葉尻つかまえるわけじゃないけど、自分が考えているのは、取りあえず1回か2回は常任委員会で決めてもらおうとやってみようかなと。全然議運から手を離してしまうというわけじゃなしに、全体としてやっていくというケースも必要と思うの

で、それをどういうふうに、前から西上委員が言よるように、各地区回ったほうがいいというのは根底にはあるわけだけれど、それをどういうふうにしていくかということもあるし、その間に一遍、こういう任意団体というか、ある程度固まった形のものの中に、あるいは出向いていく、青少年育成大会のところでPRかたがた意見を聞くと、ない場合があるかもしれん。それをやってみるということで捉えて、ずっと永久的にというわけではなしに、取りあえず1回か2回ぐらいはやってみて、また皆さんに意見を聞いて、それで主導権はこっちに持っていきゃいいと思うので、そんな感じで考えとんですけど、いいですか、それで。

それじゃ、そういうことで取りあえず今回11月に開催の議会報告会については、各常任委員会に任せると。ある程度の趣旨はそういうことで、だからあとはもう各委員会で決定してもらうということで、どんなですか、事務局。よろしいですか、そういうことで。そういう趣旨でよう徹底してもらうたらと思う。会合をどうするかこうするか、またそれは各常任委員会で尻くくつてある程度、何らかの形でやっていくようなことをしていったらと思う。それでよろしいですか、取りあえず。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議会報告会についてはそういうことにさせていただきます。

次に、②の議員研修会について、大西次長。

○大西議会事務局次長 議員研修会についてですが、7月の終わりまでにということで、今回は大正大学の江藤先生を講師に招いて開催を企画してはどうかということで御意見のほう伺っております。

開催の時期ですけれども、今年度につきましては、各委員会の視察が10月の決算委員会の後、毎週毎週入っております、ちょっと11月は、今回の議会報告会も含めて日程がタイトになっております。できれば、11月定例会が終わったら、もう年末ですので、年を明けて、1月の後半から2月の中旬にかけてオファーを出して、日程のほう詰めていきたいと考えておりますが、皆様で少し開催時期、それからもう一つお願いしたいのが、前回までは議員だけの研修会ということでしたが、数年前に江藤先生をお呼びしたときには、かなり住民の方にも御参加くださいというような御案内をしておったようでございます。仮に議場で開催するにしても、職員ないし住民の方も傍聴席で御一緒にどうぞというような形式を取るかどうか、この2点をちょっと御協議いただけたらと思います。

○尾川委員長 今事務局から説明がありましたが、開催時期について1月後半から2月の中旬あたりでよろしいですか。ちょっと11月は大変かなと思うので。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そのくらいで調整してもらおうと。

それから、開催場所というか、開催内容というか、一般市民というか、広く議会について触れてもらうということで、一般公募というか、参加してもらうことについてはどんなですか。それ

ももうよろしいですか。場所はどこで考えとん。議場。

○大西議会事務局次長 一応議会の研修会の体ですので、私は今まで議場でしか経験がないので。

○尾川委員長 議場でということで、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

そういうことで事務局、また適当な時期に報告してください。経過報告だけは。そういうことで進めてください。

○大西議会事務局次長 市民参加するということで。

○尾川委員長 はい。

それでは、③の行事予定について説明を。

○青木議事係長 行事予定はこちらの御覧のとおり、10月後半から11月にかけて決算の議案の審査であるとか、それぞれの常任委員会、議会運営委員会の視察等がございますので、体調を十分にされて議会行事に臨んでいただきたいと思います。

○尾川委員長 何か行事予定で御質問等ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体通して何か御意見等がありましたら。

今回の議会の在り方というか、悪いような言い方をしたら失礼だけど、いろいろ見直したり、検討したりするところがありやせんかなと思うので、その辺について何か気がついたところがあれば、どうするかということについてちょっと御意見いただけたらと思う。せっかくの機会ですので。何かありませんか。

○中西委員 議会基本条例についての議員のアンケートが集まって、一応この間見せていただいたんですけど、その中でやはり少しここはというところは考えてもいいんじゃないかなという感じは持っています。

例えば、来年以降少し手を加えて変えるということになれば、その準備はやっぱりしておかなければいけないかなと。

例えばの話ですけど、今私も議会だよりの編集委員の委員のメンバーとして入らせてもらっているけど、やっぱり議会だよりのモニター制度みたいなものはやってもいいかなと思っているんです。モニターも100人も200人もというのは大変ですから、まあ複数名、何人かということ、もう来年度4月からそういうようなモニター募集だとか、費用の問題もあるかも分かりませんし、何か特にこれまで開かれた議会というところがうちは弱いというようなことが言われていましたので、何かそういうところは少し、1つでも来年に向けて改善ができるといいなど。たくさんはなかなか難しいにしても、1つ、2つというところで積み重ねていけばいいなど。

○尾川委員長 今のモニター制度について、これはそんなに難しい問題じゃないと思うけど。費用も費用ですけど、取扱いについて早めにしないと、またいついつというわけにいかないの、

今日結論出せというわけにはいきませんが、その点私も中西委員と、前から長野県の飯綱町でしたか、議会運営委員会で視察したときも、モニター制度というのは、議会モニターと議会だよりモニターといろいろ先進地は見えてきとんですけど、一向に前へ進んでないんですけど、何かその辺も結論出して、一個でもやっていくということについて、事務局につくってもらったというたら悪いけど、たたき台を一遍つくってもらって、そんなできんかな。局長、どんなですか。モニター制度で、先進地があるから、ある程度どういう形で進めていくかというのを。そんなに新しいものも出てこないと思うので、まねていきゃいいかなと思う。みんなが、もうそんな要らないと言うなら、やっぱりやったほうが良いと私も思うけど、どんなですかね、局長は、意見は。

○石村議会事務局長 来年度のことになると思いますので、時間はあまりありませんが、先進地の事例を集めるように御指示をいただければ、資料は集めたいと思います。

○尾川委員長 そういうことで、何か御意見あれば。

○中西委員 一度そういう先進地の事例を出していただいて、何か毎年1つぐらいは前進したいというふうに思います。

○尾川委員長 一遍にたくさんするというなら、なかなか。

○守井議長 今基本的な話が基本条例のアンケートによって、取り組む課題が出てきたということに対して、一つの事例としてモニター制度という意見が出てきたと思いますので、そういう観点からやっぱし各党派で何がいいかというのを検討していただいて、各議員がそういう問題があるよということ認識していただいた上で、その上で統一としてモニター制度をやるかという形に持っていくのが一番いいかと思うので、どこが一番それが最重要課題かというのも再検討してからやっていただいたらいいかなというふうに、もちろんモニター制度も一つの案件として含めてという意味合いではございますけど。もう一遍、よく見直してみたいかかかなと思います。

○尾川委員長 その辺も問題提起だけしてもろうたら、議運の結果通知をすると思うので、その中へ触れて意見を考えてくれというのを入れてください。

それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ほかに何か全体通して何か御意見等があれば。

○石原委員 今日最終日で8月定例会閉会となりましたけれども、毎回、特に昨年度来ぐらいからですかね、追加議案が次々と出てきて、これも法や規定にのっとって処理がなされて、手続がなされて、提案されてくるものでしょうし、最終的には議運に、こちらへ諮られてということになりますけれども、どんどん追加で追加で、今回見ましても追加議案の一つは確かに契約議案なんかもあって、議案発送の後にでしようから、こういうものはもうやむを得ない、追加提案も当然ありましようけれども、特に補正予算でも、今9月、このタイミングで一般会計においてはもう補正予算（第8号）まで行っていますので、こんな自治体ってなかなかないんじゃないかな。

このペースで行ったら年間、補正予算（第15号）とか、そんなペースじゃないかな。もう急遽やむを得ない追加提案もありましようけれども、何かそのところは執行部にも、補正予算とは、また提案とは、追加議案とはというところをいま一度しっかりお考えをいただいて、次から次へ出てきて、僅かな時間で採決、判断を求められる場面も多々ありますし、そのあたりはより慎重な、提案の在り方について、議会のほうからどういったものが申せるのか、お伝えができるのか分かりませんが、何か今定例会でもつくづくそういったところを感じたところです。

○中西委員 江藤先生が今度来られるということですから、できれば、今石原委員が言われたような追加議案の出し方の問題、あるいは予算と執行は違うと、追加議案はたくさん何でもかんでも出してきて、予算なんて通しても全然執行しないと、そういった議会と執行部との在り方の問題も含めて少しお時間を割いて、御意見が聞けたらいいなと思います。ぜひ江藤先生のコメント、そういう話が聞けたらいいなと思います。

○尾川委員長 それはやっぱり議運が担当ですか。追加議案の問題等、予算は通ったけど実施がなかなか。

○石原委員 予算を取ったけども、全く執行せずに委託を直営にしまうと、議会に何ら話がないままやってしまうと、そういったところあたり、執行部と議会と信頼関係の問題もあつたりするので、どうなのかというのは少しコメントをいただけたら。

○尾川委員長 予算について執行されとるかどうかというのは、よう一般質問やいろいろあるけど、委員会としてやっぱり取り組むというのはなかなか、時間もねえんじやろうけど、どんな感じでしょうね、委員会としては、どういうふうに立ち向かやええかな、議会としての対応は。

○守井議長 江藤先生の御見解あるいは、経常的というか一般的に行われている考え方というのはどういうことであるべきかというあたりの御意見をお伺いしたらということでしょうから、研修会の中で御意見を求めるということはできるんじゃないか思いますから。それから、実際はそれに対してどうしていくかということについては、また別問題だろうというふうに思いますけどね。

委員がおっしゃっていたような話と若干違って、追加議案をこちらからその辺、執行部に対して慎重な審議、必要かどうかよく検討していただいてから提案していただきたいということは言えるかもしれませんが、それは駄目ですよとかということは、なかなか言える立場にはないんじゃないかな。所定の期間、あるいはどうしても必要な場合は臨時議会まで開いてやらなくちゃならないということもありますから、そのあたりのところはそのぐらいの程度しか言えないのかなというふうに思うけれども、今後ちょっとよく研究してはみたいと思います。

○尾川委員長 どんなですか、何か御意見ありませんか。

この辺もある程度認識の違いがあるんじゃないけど、どういうふうだね、やっていくかというの。

ちょっと事務局に質問だけど、追加議案もいろいろあるけど、それを受けないというたりすることはあるのかな。そんなちよれえ執行部はないからな、うまいこと抱き合わせで来るから。

○青木議事係長 受けないというわけにはいかないとは思いますが。議会中でありますので、開会中であれば議案を提出されるとなれば、もう議会としては受けて、上程して、審議をいただくようになろうかと思えます。けれども、最終日にいきなり追加で上げられてきて、委員会での審査あるいは議会での審議が十分できないような提出のされ方については、私も問題があるのではないかと考えておりますので、そういう連絡は議長のほうに恐らくあるかと思えますけれども、そういった時点でなるべく早めに、今回の補正予算につきましても最終日に審議いただきましたけれども、1週間前には提出はいただけたので、その辺は議長のほうから執行部のほうにお願いして、一日も早く出せということをおっしゃられましたので、それがかなっております。

今後にもそのように申入れのほうはしていくべきかなとは考えております。やはり議案自体は会期中であれば受けざるを得ないということになります。

○尾川委員長 そのことですけど、何か御意見ございませんか。

○石原委員 たしか以前に、初日の採決を求められたときにも、いやいやもうちょっと、なぜ即決なのみたいなのもあったり、その都度たしかこの委員会でも話題に上って、議長のほうから執行部のほうへ申入れも、いろんなこともしていただいているとは思いますが、今回第8号については辛うじて少しでも事前にいただけたんですけれども。これはしょうがないですよ、でも。何月何日、いつまでに出してはならぬという規定もないでしょうし、会期中であれば、言うたら何ぼでも出せるわけでしょうから、次から次へと。どうしようもないけど。

さっき違う案件で、他の事例も調査してみますというようなことがあったけど、これももしそんな機会に、ついでみたいなことでできれば、全国の市議会でも補正予算提案の状況なんかも、ちょっとお調べいただいて、ひょっとしたら、まだまだ多い号数の補正予算がどんどん出てきている市議会があるかも分からないですけど、僕が勝手に第8号ってあまりに多過ぎるなと勝手に思うとるだけかもしれません。もし機会があれば、併せての、調査までいかないですけど。

○青木議事係長 全て調べられるかどうか分かりませんが、今度11月1日、2日にかけてまして取手市議会さん、あと流山市議会さんのほうに議会運営委員会で視察に行かれますので、調査事項はもう委員会で決めていただきましたけれども、そういった追加でできることがありましたら、先ほどの議会モニターの件であるとか、追加補正の出し方であるとかということも追加で調査されてはいかがかと思えますので、また視察のほうでも委員の皆様から先方のほうにお尋ねいただくのもありかなというふうに考えております。

○尾川委員長 適当にということじゃな。

ほかには何かございませんか。

○西上委員 私は、ほかの市議会はどちらでもいいということで、備前流でやりゃいいんじゃないかなと思えますけど。

○尾川委員長 ほかに御意見ありませんか。

○土器委員 議員の報酬の件について、今日はもうねえんじやったら、一応考えたらと思うんです。22から16人になったときに、確かに報酬を上げることを考えりゃよかったのが、例えば、6人減ったから、3人分を上乗せすればよかったけど、次のとき私は落つとったし、次の時と思うたんじやけど。それで前にも話したけど、私が議員になったとき、平成8年は1月から3月はおらなんだから。9年は600万円から610万円、全部でもろうとるわけ。前は日当とか何かいろいろあったでしょう。もろうたお金というのは、600万円から610万円あるんです。今多分政務調査費入れて560万円ぐらいじゃねえかと思う。だから、やっぱし考えにゃおえんのじゃねえかなと思うんです。平成8年から35万5,000円じゃからな。もうちょっと考えにゃおえんのじゃねえ。ある程度、年金をもらよう人はええと思うんです。年金もらようわけじゃから。やっぱしこれから議員さん出てくるというたら、私は少ないんじやねえかなと思うんです。本当に真剣に検討するべきやと思うんですね。

○尾川委員長 報酬の話になったら、笠岡市議会のがイメージがもう、何かちょっとこう。

○土器委員 慎重にしてね、今言うたでしょう、実際議員を減しとるわけじやろう。昔のことを言うたらあれじやけど、それでなおかつあれになつとるから、やっぱしその辺をよう市民に説明していくべきじやと思うんですわ。お互いに年金もらよう人はええわけですわ、上がっても一緒のことじゃからな、年金減されるんじやからええけど、やっぱし若い人ね、年金もらってない人のことを考えにゃおえんと思うわ。そりゃ市民に言えるが、僕ら言われたら、わしら年金もらようけえ、ええけえ、若い人本当に出てやってみられえというてと思うんよ。

○尾川委員長 一遍、また報酬についても調査研究をやりましょう。いろいろ御意見あろうけど。

ほかになければこれで終わりますけど、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、議会運営委員会をこれで終わります。

定例会を通じてお忙しい、大変でしたけど、御苦労さまでした。

午後1時56分 閉会